

奈良県五條市のこども園からの依頼でぼうさいダックを初実演

日本損害保険協会近畿支部（委員長：中村 哲・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 常務執行役員）では、10月23日（月）に五條市立きぼうこども園で防災博士の岡野 博美さんとともにぼうさいダックを奈良県内の幼児施設で初めて開催しました。

近畿支部では昨年度から、奈良県が推し進めている「ならの教育応援隊」の出前授業メニューに「ぼうさいダック」と「小学生のぼうさい探検隊」を登録しており、出前授業メニューを見られた同こども園からぜひぼうさいダックをしてほしいとの依頼を受けたものです。

当日は、0歳～5歳児53名が参加。1時間枠をいただき幼稚園長をされていた防災博士の岡野さんから、ぼうさいダックカード（地震・火事・台風・洪水・交通安全・誘拐）を見せ、腹話術の人形を使ってその危険について説明し、危険に対して自分の命や体を守るポーズを覚えてもらいました。合間に紙芝居や手品を披露し子どもたちは楽しみながら集中して聞くことができました。

先生から「楽しくたくさんのお話を教えていただきありがとうございました。帰りに子どもたちがダック等のポーズをして保護者に話している姿が見られました。」等のお言葉と、子どもたちからのお礼の手紙も送っていただきました。

※「ぼうさいダック」は、安全・安心の「最初の第一歩（ファースト・ムーヴ）」を、子どもたちが実際に身体を動かし、声を出して遊びながら学んでもらうためのカードゲームです。カードには、防災や日常の危険から身を守ることを学ぶものだけでなく、挨拶やマナーといった日常の習慣について学べるものも含まれています。子どもたちが、楽しみながら繰り返しゲームをするうちに安全・安心への「最初の第一歩」が自然と身につくようにつくられています。

当支部では、引き続き防災博士や関係機関と連携し、地域の安全・安心に資する取組みを推進してまいります。



ぼうさいダック（地震から頭を守るダックのポーズ）



ぼうさいダック（天気予報等で情報をキャッチ・うさぎのポーズ）



腹話術で子どもたちへお話



紙芝居



手品